

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 62	0	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 123	97	ヘルパンギーナ	↗ 41	22
咽頭結膜熱	↘ 8	11	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 10	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 55	42	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 215	200	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 15	10
水痘	↗ 42	32	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 39	48	無菌性髄膜炎	↘ 0	2
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 1	0	マイコプラズマ肺炎	→ 1	1
突発性発しん	↗ 45	39	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- インフルエンザ

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

ヘルパンギーナ : 天草

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所		34	2	20	41	16	7	1	21		5	2		15						
山鹿保健所		7			19		1							*	*					
菊池保健所	7	27	5	4	41	10	5		8		13	1								
阿蘇保健所					2									*	*			1		
御船保健所				1	4	1						1		*	*					
八代保健所		11		3	26		3		4		1	2								
水俣保健所		27							2					*	*					
人吉保健所		3		13	7	9	7				2	3		*	*					
有明保健所		4		5	44	2	4		7											
宇城保健所	45	10	1	7	23	4	12		1		4	1		*	*					
天草保健所	10			2	8				2		16									
計	62	123	8	55	215	42	39	1	45	0	41	10	0	15	0	0	1	0	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	62		2	1	1	3	3		2	4	1	9	23	2	2	5	4					
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	123	13	27	47	22	9	3		1		1											
咽頭結膜熱	8		1	4	1	1	1															
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	1	1	3	4	9	5	6	5	8	3	2	7		1							
感染性胃腸炎	215	6	22	26	20	17	16	21	19	12	6	2	29	7	12							
水痘	42			12	8	8	5	4	3			1	1									
手足口病	39		2	11	6	7	6	2			1	2	2									
伝染性紅斑	1						1															
突発性発しん	45		20	21	4																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	41	2	9	7	9	5	5	2		2												
流行性耳下腺炎	10				1	1		3	2		1	1	1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	15			2			1			1				1	2	1	2	5				
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	1		1																			
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0																					

RSウイルス感染症 注意しましょう

RSウイルス感染症は、先週一旦減少しましたが、今週また増加しました。RSウイルス感染症は、乳児が感染する感染症で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにすべての小児が感染するとされています。特に、生後6か月以内の乳児がRSウイルスに初めてかかった場合、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を起こすことがありますので、生後6か月以内の乳幼児は、感染しないように注意しましょう。

RSウイルス感染症 予防方法

- 流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない。
- 症状のある家族はマスクをする。
- 外出後の手洗いをきちんと行う。
- 子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはアルコールや塩素系の消毒剤で消毒する

宇城、天草、菊池でインフルエンザが報告されました

今週、宇城、天草、菊池地域からインフルエンザの報告がありました。年齢別では、9~14歳が32件で、全体62件の半数以上(51.6%)を占めており、小学生や中学生を中心として流行しているようです。インフルエンザが流行するにはまだ時期が早いですが、感染症予防を意識して、手洗いや十分な休養と栄養を摂るなどの対策に努めましょう。

インフルエンザにかからないために

- ① 外出後の手洗い
流水・石鹸による手洗いは手指など体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法です。アルコール製剤による手指衛生も有効です。
- ② インフルエンザの予防接種
ワクチンの効果を考えると、10月から12月中旬に受けましょう。
- ③ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. Televitan

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課